



SESERAGI-MISHIMA Rotary Club Weekly Report

せせらぎ三島
ロータリー
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋 憲男
クラブ会長基本テーマ 「原点を学ぶ」

第910回例会 2008.6.20(金)雨

司会：石井邦夫君 指揮：遠藤正亀君
ロータリーソング「日も風も星も」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋憲男君

いよいよ今日は、今年度事業の結果報告の例会となりました。一年間は長いようで短く、短いようで長いものでした、今日は、各委員会の成果発表をしていただきますが、各委員会共CLPの導入の年という事で、戸惑いながらも立派な一年であったと思います。

発表される各委員長の皆様よろしくお祈り致します。

出席報告

| | 出席総数 | 出席率 | メイクアップ | 修正出席率 |
|--------------------------|-----------------|--------|--------|--------|
| 前々回 | 33/36 | 91.67% | 35/36 | 97.22% |
| 今回 | 29/35 | 82.86% | 会員総数 | 36名 |
| 欠席者 | あなたが見えなくて残念でした。 | | | |
| 石井司君、岡君、田中君、山上君、山本章君、米山君 | | | | |

ようこそ
南クラブへ

ゲスト

石井和郎さん(大房君のゲスト)
長島操子さん(金澤君のゲスト)

おめでとう

| | | |
|-------|-------|-------|
| 会員誕生日 | 6月21日 | 大房正治君 |
| | 6月21日 | 山田定男君 |
| | 6月21日 | 山口雅弘君 |
| 入会記念日 | 6月22日 | 太田政人君 |
| | 6月22日 | 中村徹君 |
| | 6月22日 | 古屋憲男君 |

スマイルボックス

太田政人君：所用のため、早退します。

大房正治君：明日、61歳の誕生日です。まだ61歳です！

加藤正幸君：先日、SAのOB会にて、楽しい内容のある時間をありがとうございました。

金澤征子君：本日もゲストで長島様が見えます。よろしくお祈りいたします。

土屋巧君：本当は、ゴルフコンペ優勝のごあいさつで締めつもりでしたが、修行が足りず下から3番目で終わってしまいました。次回がんばります。

宮澤正昭君：用事があり早退します。

臨時理事・役員会の議事録

新会員について

石井和郎 さん

承認

卓話

クラブ協議会「各委員会報告」

会長報告

古屋憲男君

本年度は、CLP導入に注力し、さまざまな事に対しRIの指導にもとづいた改革を行ないました。会員の皆様には困惑した事も多くあった事と思いますがご協力ありがとうございました。しかし、CLPの目的は、1年で完成出来るものではありません、効率の良い楽しいクラブにする為に常に進化するべきものと理解します。

次年度に向けた活動として、IMや20周年記念事業の準備もそれぞれの役員の方々のご努力により、第20期にいい形でバトンタッチ出来たものと自負しております。

又、食事の数の発注については、一定数発注から必要数発注に変えたところ、会員の皆様の多大なご協力によ

り、無駄を無くす事で経費の大幅削減が出来ました。1年間ご指導・ご協力ありがとうございました。

幹事報告

西原克甫君

今期一年間(実質一年半より)古屋会長ご指導の下、今期から、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を導入することになり昨年とは、違い、すべての委員会等を変更・組織全体の見直しを、会長指示の下で勉強させて頂きました。又、食事を皆様のご要望にお応えするために、グランド・ホテルをお願いをし、温かい料理を温かくいただく為にバイキング(セルフサービス)を研究し取り入れました。如何でしたでしょうか? 古屋会長のアイデア、考え方の斬新さ及び物事に動じない強さを教えて戴き、幹事として大変有意義な一年でした。

一年を振り返りますと兼子広報委員長様、山口IT委員長様に、お骨折りを戴き、週報をHP(ホームページ)に掲載し、配信致しました又、RC連絡を随時携帯電話のメールにて、配信していただきました。この様にIT化を進めたのは、RCでは、当クラブが初めて、だと思っております。お手数をお掛け致しました。

ありがとうございます。

SAA望月委員長、遠藤副委員長、石井委員長様には、ご無理な事ばかりお願いをいたしまして申し訳ございませんでした。御蔭さまで一年間の例会が無事終了出来ますことに感謝申し上げます。

山本良一親睦委員長様には、夏の家族会、クリスマス家族会、七クラブ合同新年会、春の家族会及び、その他のいろいろの催し等、予算が少ない中、大変ご苦勞をお掛け致しました。委員長様を始め委員の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

11月4日に沿津文化センターで開催されました2620地区、地区大会のイベントとして

ミセス・アモーレの皆様と三島北中学校の特別支援学級の生徒さん達と合同演奏をして頂き地区大会を盛り上げて戴き、他のロータリアンの皆様が当クラブの奉仕活動を認識して下さい、絶賛して戴きました事は、当クラブの誇りでありますとともに、全会員皆様の、ご努力の賜物と感謝申し上げますと共に幹事として皆様に厚く御礼申し上げます。古屋年度の大きな事業の一つとなりました。

又、田中奉仕プロジェクト委員長様、澤田地域開発プロジェクト委員長様には青少年育成の事業として箱根の里への植林、ならびに三島北中学校特別支援学級とミセス・アモーレと合同演奏会を企画の段階から何度も、何度も細かく打ち合わせをして頂き、大変な時間と労力をお掛けし、全会員協力の基で、実行出来ましたことを地区及びRIで認めて戴き、当クラブ2度目の「意義ある業績賞」に輝きました事は、古屋年度の大きな事業となりました。

奉仕プロジェクト委員長ならびに特に委員の皆様のご努力に感謝申し上げます。又、全会員の皆様が家族会として積極的に、ご参加戴き、ご協力頂きましたことに重ねて感謝いたします。

尚、この事業は、片野ロータリー奉仕委員長、澤田委員長、鈴木次年度幹事様のご努力の下、地区に補助金の申請をして戴き30万の補助金が降りまして、おかげさまで事業が、一層充実しましたことと、ご苦勞を、お掛けしましたことに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

第5回タイ自転車贈呈事業は、野中国際奉仕プロジェクト委員長様のもとで、タイ国スリオンRCとの提携で今までの継続事業として2007/11/21~11/25に古屋団長初めとして、世話人根津延和様に、お骨折りを戴き今年度の事業として成果を納めさせて戴きました。この事業も古屋年度の大きな事業になりました。ありがとうございました。

私、初めて参加させて頂き日本の放置自転車が、他国で再利用され、タイ国の子供たちが、あのように喜ぶ姿に感動致しました。贈呈式も盛大でした。また、タイでは、個人的に矢岸さん、田中さんには、大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

前期からの宿題でした名称変更につきましては、鈴木政則クラブ名変更特別研究プロジェクト委員長様には、大変お骨折りをいただき「三島南ロータリークラブ」から「せせらぎ三島ロータリークラブ」に無事変更できました。大変お世話になりました。

ありがとうございます。

事業も無事終了しほっとして、もう幹事の仕事も、終わったと思いましたが突然に例会場休業に付き例会場変更しなければならず、皆様のご協力で「ブク東海三島」に変更できました。忙しい、大変な思いをしたのも幹事を仰せ付かった、良き思い出の一つです。

最後になりましたが、幹事に、ご指名して頂きました古屋会長様には、大変貴重な経験をさせて戴きました事に感謝申し上げますと共に、お手伝いをしなければならない立場の幹事が、古屋会長様の足を引っ張るのみで、任期を終りますことを大変申し訳ないと思っております。数々のご迷惑、ご心配をお掛け致しました事に。お詫び申し上げますと共に最後まで広い暖かい心で、ご指導頂き、感謝、感謝、感謝、でございます。

さいごの最後に、事務局の宇都宮様には大変お世話になりました。御礼申し上げます。

この1年間皆様の、ご協力とご支援を賜り任期を全う出来ました事に、御礼と感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

有り難うございました。

合掌。

会員組織委員会

委員長 保坂国夫君

今年度、会員組織委員会は山梨副委員長と山田委員の3人で担当させていただきました。会員増強につきましては、今年度から5年間で50名のクラブを目指して8月と1月に会員増強フォーラムを2回開催しました。各会員から1名の友リスト(会員候補)を掲げていただき、候補者を食事にお誘いして勧誘したりしましたが、結果は残念ながら予想に反し1名しか増強できなく大変申し訳なく思っています。しかし、年度末近くになり、次年度に向けて4名の入会予定者がいるのは、20周年を迎える当クラブにとって心強く感じます。また、今年度、残念ながら1名の退会者が出てしまい、退会防止委員会としても深く反省します。

また、ロータリー情報に関しましては、今年度は古屋会長の「原点を学ぶ」がテーマでした。前半、例会ごとに会長挨拶の中にロータリーの歴史、現在および将来にわたる情報をお話していただきましたが、今年度から取り入れたクラブリーダーシッププランでは、会員組織委員会が情報を担当することになっています。新会員はもとより全会員の方に1週間ずつ「研修のための私たちが理解するロータリーの組織」の雑誌を回覧して、ロータリーの基本的な組織構成を理解していただく一助になればとの発想でした。

最後になりましたが勧誘の際には、会員の皆様のご協力をいただき深く感謝いたします。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 田中四史生君

国際奉仕プロジェクト・野中委員長、地域開発プロジェクト・澤田委員長、両委員長のご計画が年度を通して達成されたのでは、と思っています。両委員長のご努力に感謝申し上げます。自転車贈呈、植樹と会員皆様にも多大なご協力をいただきありがとうございました。ミセスアモーレのメンバーの皆様にもご活躍いただいたことに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

地域開発奉仕プロジェクト委員会

委員長 澤田稔君

地域開発プロジェクトでは、ロータリーメンバーの皆様と山本委員長を始めとする親睦委員会の協力を得て、春の家族会を「箱根鎌倉古道再生と三島箱根の里植樹」事業と合体する形で行いました。環境保全と三島市の美観、そして青少年育成を念頭におき、三島市立北中学校生徒と三島青年会議所の会員の方々、そしてロータリーメンバー、その家族を含めた総勢約140人の人たちが参加してくれました。木や自然の大切さを現場で知ってもらうことにより、また植樹を共同で行うことで地域社会への貢献もできたのではないかと思います。また、小池市長も参加していただき、植樹事業に花を添えていただ

きました。

ミセス・アモーレと北中生徒によるハンドベルとトーンチャイムの合奏、北中吹奏楽部の演奏は参加者に感動と夢を与えてくださいました。

これは、田中委員長、山本親睦委員長、地域開発プロジェクト実行委員の米山晴敏氏、内田憲一氏、小林勝氏のメンバーの全力でのご協力と、アドバイザーの宮澤正昭氏にはプロとしてのご指導と機材の提供をしていただきました。

また、行政との窓口になっていただいた大房正治氏、金澤征子氏、古屋憲男会長、そして三島市の杉本経済部長、土屋農政課長、箱根の里の中野所長および職員の方々が、植樹に関して市民の立場に立った発想で力強いご協力をいただきました。地区補助金申請では、佐野誠一氏と鈴木政則氏、ミセス・アモーレ古屋幹事他メンバーの方々に格別なご尽力をいただきました。

感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

国際奉仕プロジェクト委員会

根津延和君

事業報告

2007年11月21日(金)に バンコクスリウォンRCとアムナートチャルーンRCの協力で第5回タイ放置自転車贈呈事業を行った。贈呈式には古屋憲男会長を団長とし12名が参加した。贈呈場所はアムナートチャルーン中心部のクロックタワーという公園で行われ、今回は400台の自転車を贈呈し、延べ2200台の自転車を贈呈したことになる。

2007年11月22日(土)にバンコクスリウォンRCの主催で食事が開催され、この席で自転車贈呈支援金25万円をバンコクスリウォンRCに寄贈した。

ロータリー奉仕委員会

委員長 片野誠一君

ロータリー奉仕委員会の今年度における活動方針は、ロータリー財団の支援・米山奨学事業の協力・米山梅吉記念館の運営協力を主な活動方針として進めてまいりました。

活動報告

1. 地区財団セミナーを通して、ロータリー財団の活動方針を確認すると共に、クラブ内において卓話並びにクラブフォーラムを通して、会員の皆様と財団についての意識の高揚を図ると共に、財団の地区目標を達成に向けて協力をお願いしてまいりました。
2. 地区目標については、ロータリー財団寄付・米山記念奨学事業寄付・米山梅吉記念館援助金の達成に努めてまいりました。
3. 米山記念奨学会の米山学友の状況調査を実施し、奨学会に報告をいたしました。
4. ロータリー財団の恒久基金でありますベネファクタ

- ーに中村さん、田中さんの2名に加入をいただきました。
5. クラブの緑化事業の推進に対し、地区補助金制度を申請し、60万円の助成金を受ける支援をいたしました。
 6. 米山梅吉記念館の運営に保坂さんと共に参加し、春、秋の例祭、および運営委員会に参加協力をしてまいりました。

広報委員会

委員長 兼子悦三君

本年度はCLPに基づく広報委員会活動でした。広報委員会は、ロータリークラブ内部に向けての広報と外部に向けての広報の二通りがあり、内部に向けての広報はIT活動でした。ITについては山口委員より報告があります。外部に向けてはロータリー間のPR 一般社会へのPRです。これらに関しては矢岸委員より報告があります。

また、第2分区の推薦により月刊誌「ロータリーの友」の「手に手」の記事に、当クラブが取り上げられるようPRしておきました。

IT化・ロータリー内広報委員会

山口辰哉君

今年度目標に掲げました

通信費圧縮

に関しましては、多くの連絡をメールで済ますことができ、ほぼ順調に推移することができたと思います。

ホームページの充実

については私としてはまだまだ不満足の状態です。さらに充実を図りたいと考えています。また、クラブ名変更に伴い、ドメイン（インターネット上の住所）が変わりました。サーバーも強力なものになり、クラブメンバー全員がせせらぎ三島のついたアドレスを持つことができます。

ロータリー外広報

委員長 矢岸貞夫君

今年度の目標は、マスコミ等を通じてロータリークラブの活動をPRすること、そしてクラブメンバーの事業所内に「ロータリーの友」を置いてもらうこと、また公共施設などにも配布して、ロータリー活動を幅広く理解していただくこと、などを掲げました。JAの各本支店や公的な場所などにもおかせても会うことができ、また植樹の際には各マスコミの取材も受けたりとそれなりの成果を上げることができました。」1年間ご協力ありがとうございました。また、引き続き次年度は20周年を迎えること、IMの担当になっていることなどがあります。よろしくお願ひします。

クラブ管理委員会

委員長 大房正治君

クラブ管理委員会は、会場監督・プログラムの望月委員長、親睦・出席の山本委員長、会計・細則検討の中村

委員長より成り立っています。

今年度から始まったクラブリーダーシッププラン「CLP」は、全国的にみてもメンバー構成40人くらいのクラブが多いことを考えますと、運営面においてしっかりと根を張った組織にしなければ、と思います。

しかし、各委員会には戸惑いがあったことは事実で、特に親睦委員会におかれましては、少数精鋭でしたので一人二役が日常茶飯事でした。また細則検討委員会も大変苦労されておりました。

ロータリーは親睦で始まり親睦で終わるといわれております。楽しい魅力ある例会作りに最善努力をしてまいりましたが、退会者を出してしまったことは非常に残念でした。

SAA委員会

委員長 望月 保延君

一年間会員各位には例会運営に御協力頂き大変感謝しております。

古屋年度に入る前古屋会長エレクトより、年1-2回レストラン例会は出来ないものかと言われ、色々候補を搜しましたがなかなか良い場所が見付からず、その件については古屋会長にお詫び申し上げます。

親睦・出席委員会

委員長 山本良一君

1年間、予定されていた事業を無事に開催することができ皆様のご協力に感謝いたします。

平成19年8月26日は「夏の家族会」を清水町バツカスのへそにおいて柿田川の湧水を見学後、おいしい食事と子供たちの花火大会で夏の一夜を楽しみました。

12月21日は早めのクリスマス会はバントマイムやアコーディオン演奏に子供だけでなく会員家族もおおいに楽しみました。

平成20年1月11日は初めての「7クラブ合同新年例会」をブケ東海三島において開催

3月9日春の家族会は地域開発プロジェクト委員会の「鎌倉古道の再生植樹」とともに開催、三島市立北中の生徒、JC、の皆さんと植林、演奏会を実施しました。

4月11日三島RCとの合同例会、当初懇親会のあと桜を観る予定でしたが桜の開花が例年になく早く、古屋会長に三島警察署長の卓話を設定していただきました

あとは6月27日のさよなら例会です。

親睦と出席がひとつの委員会となりましたCLPの初年度のため、親睦が優先してしまい出席率向上の活動が手薄になってしまいました。会員の出席意識が高くメイクアップを含め出席率向上に努めていただきました。

クラブ細則検討委員会事業報告

中村徹君 鈴木政則君

前期では会員推薦手順の表と解説について検討し、理事会の承認を得た。後期ではクラブ財務について下記に

示すような提案をし、理事会の承認を得た。但し、クラブ細則の変更は会員の意識改革を伴う為、拙速しないことが肝要であった。

一年間会長、幹事さんをはじめ理事役員の皆様には細則検討委員会に多大なるご理解をいただいた事を感謝いたします。また財務については鈴木政則さんの協力なしではなし得なかった事業でありました。ありがとうございました。

会員推薦手順の解説

- ・会員はクラブ見学ゲスト（入会推薦を前提として、気楽に来ていただく）の推奨に努める
- ・ただし、このゲスト見学は、省略しても可である。
- ・推薦状を推薦者は書面にて幹事に提出すること。
- ・幹事は、書面の記載内容を確認の上、理事会に提出する。
- ・理事会では、職業分類と会員選考規程に足しているかを審議する。
- ・NOの場合
幹事は推薦者にその理由を伝え、推薦者は被推薦者にご理解と納得がいただけるようお話をしていただく。
- ・YESの場合
推薦者は被推薦者に伝えると共に、幹事は全会員に承認封書を配布する
- ・配布後、7日以内に会員より書類にて不承認の通知があった場合幹事は、理事会を開催し規定に従い決議する。
- ・入会を承認すると理事会が決議し、さらに会員の誰からも書面による不承認の通知が無かった場合、1回のゲスト参加を促す
- ・1回目のゲスト参加は、原則として配布後7日以上経過後に行い、その後、入会金及び会費の納入の手続きを行う。
- ・2回目のゲスト参加の当日、入会金・会費の納金を確認後、当日入会式を行う
- ・入会式は、会員証の発行と共に、ロータリー情報資料を提供する。
- ・ゲストフィは、2回目までは会負担・3回目は当人負担とする

財務について

1. 推奨クラブ細則（CLPに基づく）に則って一般会計予算はクラブ運営に関する予算(分担金、例会費事務経費など基本的にクラブ運営に欠かす事が出来ないものを含む)と慈善・奉仕活動運営に関する予算に分け、夫々単年度会計とする
2. 繰越金は特別会計に入金される。
3. 次年度一般会計予算書作成にあつては、収入の部に不足を生じるため、特別会計より一部運用がある。
4. スマイルは別通帳とし、慈善・奉仕活動運営に限定し運用され、クラブ運営には流用しない。また一般会計予算には計上しない。

5. 特別会計は従前どおり、別通帳となっているが、周年記念事業や理事会が認める特別事業費に当てる。
6. 会計監査は副幹事が追認する。

クラブ名変更特別研究プロジェクト委員会

委員長 鈴木政則君

当三島南ロータリークラブは、次年度20周年になります。

今までに地域社会と、国外に多くの社会奉仕、青少年育成、環境保全、職業奉仕、国際奉仕、ロータリー財団、米山奨学生等々を積み重ねて参りました。しかし、残念なことに地区大会をはじめ、多くの機会に三島RCと勘違いされているのが現状です。三島市民ですら、三島にロータリークラブが三つあることを知りません。我々の奉仕が評価されないことは残念であり、寂しい事であります。

そこで、今回、20周年にあたり他のクラブと区別のごつくことと、三島に有る事を表現できる様な名称に変更したいと考えた次第です。

1. テーブル別に新しいクラブ名の募集した結果30集まりました
2. 5に絞り込みをする
3. 決定日は、12月7日の総会でクラブ名を決定しました。
4. せせらぎ三島ロータリークラブ
5. 西原幹事にRI理事会に名称変更の申請をして頂きました。
2008年3月18日に承認されました。

6. 名前変更による備品

ロータリー旗
例会用名札
ビジターカード
フェルトタスキ
バナー
印鑑 ゴム印
封筒

合計 757,600円

7. 例会場変更備品

演台
演台横スタンド
立て看板
式次第 黒板

合計 410,550円

次回卓話

6月27日(金) 18時30分
さよなら例会

Photo Gallery



はじめて全員揃ったCテーブル



入会記念日の3人



誕生日の二人

